

SAPデータ統合による データドリブン経営・事業推進を加速

SAPを含む様々なデータを経営の“意思決定資産”へ変えるモダンデータ基盤の最適化



ビジネス課題とFivetran導入の背景

ライオン株式会社では「次世代ヘルスケアのリーディングカンパニー」を目指し、全社的なデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進中です。その中で直面していた課題が、「データの分散・サイロ化」でした。

SAP、Salesforce、CRMなど部門ごとに異なるシステムが存在し、全社横断的なデータ分析が困難な状況にありました。各部門の担当者が手作業でデータ抽出・加工を行うため、意思決定に時間がかかり、ビジネス機会を逃すリスクも生じていました。データドリブン経営の実現に向け、同社はGoogle BigQueryを中心としたデータ基盤構築を推進。その中核となるSAPデータ統合において、Fivetranが採用されました。FivetranはSAP専用のコネクタを提供しており、開発なしで迅速かつ安定的なデータ統合を実現。ネットワーク開設からわずか1週間でSAP検証データの初回同期を完了した導入スピードが決め手となりました。

Fivetranによる課題解決とビジネスインパクト

Fivetranの導入により、SAPの販売・会計・生産といった基幹データを安定的かつ自動的にBigQueryへ連携。これまでシステム毎にサイロ化していた重要情報の一元化を実現し、同時にデータ連携基盤にかかる運用・保守負担を大幅に軽減しました。これにより、IT部門は「守りのIT」における定型業務から脱却し、データを活用して全社的な価値創出を支える「攻めのIT」へと役割をシフト。さらに、経営層はLookerを通じて、常に最新の経営状況を網羅したデータに基づき、迅速かつ的確な意思決定を行うことが可能となりました。

業界: 製造業・一般消費財

企業規模: 7,654名（2024年12月・連結）

1891年の創業以来、「より良い習慣づくりで、人々の毎日に貢献する（ReDesign）」というパーパスを掲げ、オーラルケア、ビューティケア、医薬品など、人々の暮らしに寄り添う製品を提供し続けています。現在は、経営ビジョン「次世代ヘルスケアのリーディングカンパニーへ」の実現に向け、全社的な変革に取り組んでいます。

ユースケース: データドリブン経営, データ基盤の近代化, 在庫分析・需要予測, マーケティング, 財務・経営分析

データソース: SAP S/4 HANA ほか

パイプライン: Fivetran

デスティネーション: Google BigQuery

「Fivetranは、データドリブン経営への第一歩を技術面から力強く支えてくれたパートナーです」

土谷 一郎 氏
デジタル戦略部
(2025年11月時点)

ハイライト



導入スピード：

SAPとGoogle Cloud間のデータ連携を、ネットワーク開設からわずか1週間で実現。



開発工数削減：

独自開発に比べ、数ヶ月分の開発・テスト期間を削減。



分析スピードの向上：

手作業で数週間かかっていたデータ統合・レポート作成が、BIツール上で数分に短縮



意思決定の迅速化：

経営層がリアルタイムで経営指標を可視化、データドリブンな判断が可能に。



コスト効率の改善：

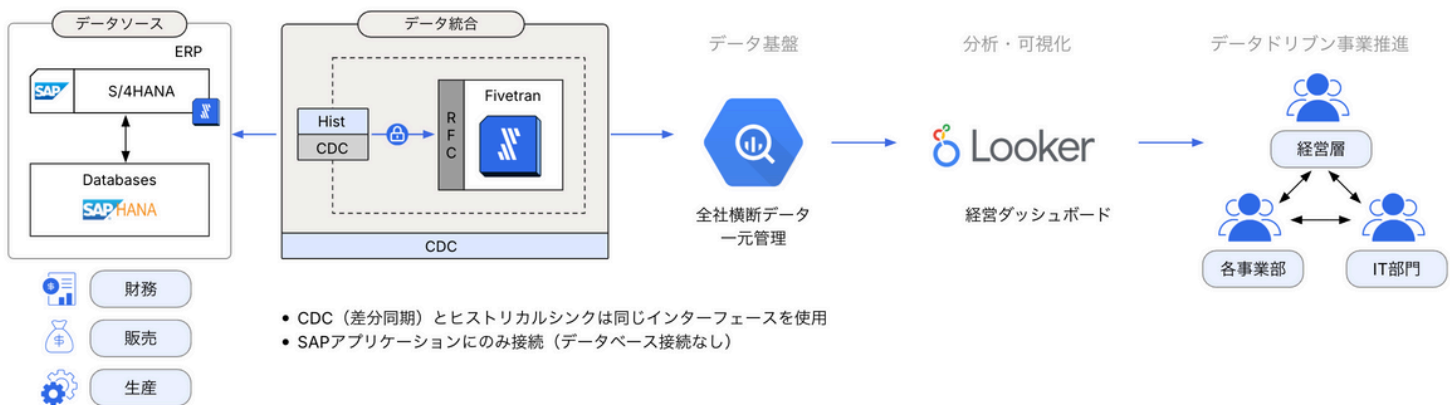
Google Cloudの運用コストを当初計画の約10%に抑制。



IT部門の変革：

「守りのIT」から「攻めのIT」へ。データ利活用を主導する体制へ転換。

ハイレベルアーキテクチャ



「今回のデータ基盤は、当社のDXを推進するエンジンと位置づけています。今後は、この基盤に蓄積されたデータを活用し、AI・機械学習による高精度な需要予測の実現を目指しています。**FivetranによってあらゆるデータがリアルタイムにBigQueryに集まるようになったことで、Vertex AIなどの最新技術を活用し、サプライチェーンの最適化を実現していきたいです。**」

土谷 一郎 氏
デジタル戦略部
(2025年11月時点)